我が街の記念碑 モニュメント 42

聚林山 興福寺

京王高尾線
狭間駅
徒歩8分

名所「横木の門」。奥に見えるのが本堂

【八王子・大工・高橋俊光通信員】聚林山興福寺は1580年に関東十八代官の一人、雨宮勘兵衛の祖である雨宮秀徳によって創建されました。1597年に龍鳳寺第四世香山充孫大和尚によって開山され、同寺の末寺となります。

また、同年、当山三世照庵本州大和尚の時に寺領（6764坪）に対して七石の御朱印を与えられました。1619年に開基家の雨宮次郎右衛門とその妻の諡（おくりな）を山号及び寺院名とし、聚林山千光院と号するようになり現在に至ります。

また、興福寺は関東十八代官の一人であった設楽家の菩提寺として、並びに八王子千人頭であった河野・中村両家の墓所といった郷土史においても永い歴史ある寺院です。

境内にある稲荷大明神は、今から200年以上前に興福寺十世説外普宣大和尚により建立されたもので、祠の中には自然石による御神体が一対祀られています。当時、八王子村では悪病が流行し多くの村民が犠牲になり、特に幼児が多かったことが当山の過去帳からも察せられます。稲荷大明神は、病災駆除、家内安全、子孫繁栄、万物繁栄、諸縁吉祥を祈願して建立されたもので、今でも多くの人たちに篤く信仰されております。

また、大きなしだれ桜が茂る参道を進むと、簡素な薬医門が現れます。徳川幕府草創期に活躍した大久保長安を代官頭とする関東十八代官の一人、設楽家の門を移したもので「横木の門」といわれています。前2本の本柱上に水平に架した横木は、独特の光沢があり、太くて立木の中央に掲げられています。この薬医門は関東ではひとつしか見られない建造物ということで、八王子の歴史探索の名所ともなっています。

関東唯一の「横木の門」
潜って歴史探索へ

あかね！

忘れえぬこと

浴衣を40着新調し
まつり成功で得た自信

建設事務　須田 幸子

今から10数年前、成り行きで西多摩支部の主婦の会会長になり、新年度のスタートの常任執行委員会に出席した時のこと。私の発言で、担当書記から「前代未聞ですよ」と言われた事を思い出します。あの頃、西多摩支部は勢いもあり4000人を目指し、主婦の会も組織の20%を目標にひたすら頑張っていました。土建のアピールのため福生七夕まつりに参加していましたが、年々参加人数は減っていました。浴衣は以前に支部で作ったものでしたが、心機一転で新しい浴衣を揃えたいと提案したのです。

支部では予算案も通り、主婦の会への援助金も頂いていたのですが、予算には入っていない事で、あまり突拍子もない案を出したので書記があわてたのだと思います。でもこの案は4役会議で話し合った提案でした。シーンとなるかと予想していましたが、話が盛り上がり、「良い事だよ。後押しするよ」となり、役員からカンパも始まり、不足の部分は分会からの協力もいただくことができました。おかげ様で白地に和傘模様の浴衣40着を新調することができました。帯代はなかったのであとで主婦の会で出し合いました。その年の七夕の当日、多摩ケーブルネットワークからインタビューを受けたとき、その旨を伝えました。

その年の拡大も成功して800人達成のお祝いをしました。長年続いてきたまつりへの参加は今も受け継がれています。あの時の感動と自信は今でも私にとって成長の場所になり、今の活動への強い意志となっています。（西多摩）

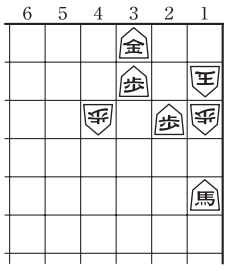
ヤマぎみ！

元祖ブラック労働

1973年に発売した『個人授業』が100万枚を超える大ヒットとなり、一世を風靡した兄弟グループのフィンガー5。四男・晃のパワフルなハイトーンボイスが受けて、何年も超多忙な日々が続いた。

まだ小学生だった晃も、深夜まで働くのは日常茶飯事。何回も過労で倒れて救急車で運ばれた。そのことがマスコミで取り上げられ、政治家の耳にも入り、国会でも議論され、児童福祉法が厳しくなったという。

詰将棋



チョット一服(1040)

中国地質大学のシン・リダ准教授が、中国の四川省で昨年発見された恐竜の足跡化石にエウブロンテス・ノビタイと命名して話題になった。ノビタイはアニメ「ドラえもん」の主人公のひとり、のび太に因んでいるそうだ。

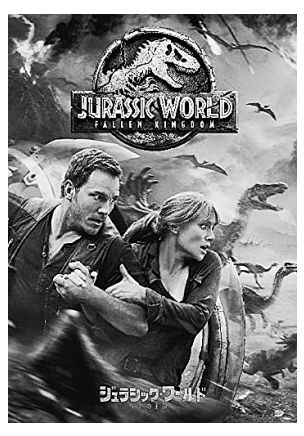
中国で発見された恐竜に日本のアニメという取り合わが、中国国内では批判されたようだが、アニメでのび太が新種の恐竜に自分の名前を付けていたことから、のび太の願いを叶えたかったというのがシン・リダ准教授の思いだ。今後ノビタイのレプリカが「藤子・F・不二雄ミュージアム」で展示されるという。ファンには必見となるだろう。

DVD ブルーレイ

ジュラシック・ワールド／炎の王国

監督 J.A.バヨナ

置き去りの恐竜たちを救えるのか



5月に横浜市で、アパートの一室からアミメニシキヘビが逃げ出し大騒動に。17日間の大捜索の末、天井裏に潜んでいるところを無事確保し一件落着、と思いきや翌月には浜松市の集合住宅ベランダでまたもやニシキヘビが見つかる騒動が起きた。実はもっとヤバい危険生物の飼育も増えているという。毒ヘビ、ワニガメ、サーバルキャット…過去にはトラが逃げた事件もあったらしい。飼い主の飼い方が問われている。

2018年公開『ジュラシック・ワールド／炎の王国』は、前作で島に置き去りにされた恐竜たちの管理責任が問われた作品。『ジュラシック・パーク』から四半世紀を経て発表された、シリーズ5作目にあたる。

ハイブリッド恐竜インドミナス・レックスとT－REXの激闘で崩壊したテーマパーク「ジュラシック・ワールド」があるイスラ・ヌブラル島。その火山に大噴火の予兆が表れ、人間たちは恐竜たちを見殺しにするか、危険を冒して救い出すかの判断を迫られていた。そんななか、恐竜行動学のエキスパートのオーウェン（クリス・プラット）はテーマパークの元運営責任者クレア（ブライス・ダラス・ハワード）と、恐竜たちを救うべく島へ向かうが…。

シリーズで最も、科学が生命を操る功罪への哲学的考察を深めた内容となっている。

現在巷で起きている〝新型コロナウイルス人工説〟論争など、その真偽はさておいてもワクチン、食品などあらゆる分野で遺伝子組換え技術が進められているのは紛れもない事実。窓から覗く巨大恐竜と目が合って腰を抜かす日は、そう遠くないのかもしれない。